

2. ルート選定の視点

「早期整備」が重要。

● 関西と北陸を「早く、確実につなぐ」

- 「関西広域連合の各構成員は、北陸新幹線が災害時の東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、北陸圏および北関東・信越圏と関西圏を結ぶ国土政策として、極めて重要で早急な整備が必要な事業であることを共有」

(平成 24 年 3 月 25 日 関西広域連合「北陸新幹線(敦賀以西)ルート提案に係る基本方針」)

● 整備新幹線の着工条件「安定的な財源見通しの確保」

限られた財源の中で「早く、確実に整備が可能なルート」をすすめる必要があるのではないかと。

- 着工済み3路線の開業前倒しの財源として、JRから受け取る新幹線貸付料の将来収入も既に財源充当済み。P7資料(上)

● 投資効果の観点からも早期整備が必要

- 着工条件「投資効果」は、総便益 / 総費用 (B/C) の値が1以上となることが必須。
- 総便益 / 総費用 (B/C) は、整備期間が長いほど逓減する。P7資料(中)

■ 関西広域連合の試算結果

最低限必要な比率 = 1

